

第 105 回 埼玉県内企業経営動向調査－2018 年 10～12 月期－

調査対象：県内企業 557 社 調査方法：アンケート方式（11 月上旬 郵送回収）
 回答企業：218 社（回答率 39.1%） 業種別内訳：製造業 123 社 非製造業 95 社
 調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回) 2018 年 8 月 21 日	109.92	22,219.73
(今回) 2018 年 11 月 9 日	113.90	22,250.25

概況

埼玉県内企業の業況感は、足踏みしている。今回（2018 年 10～12 月期）の業況判断 BSI は、前回（7～9 月期）比 2 ポイント低下の 2 と、やや後退している。

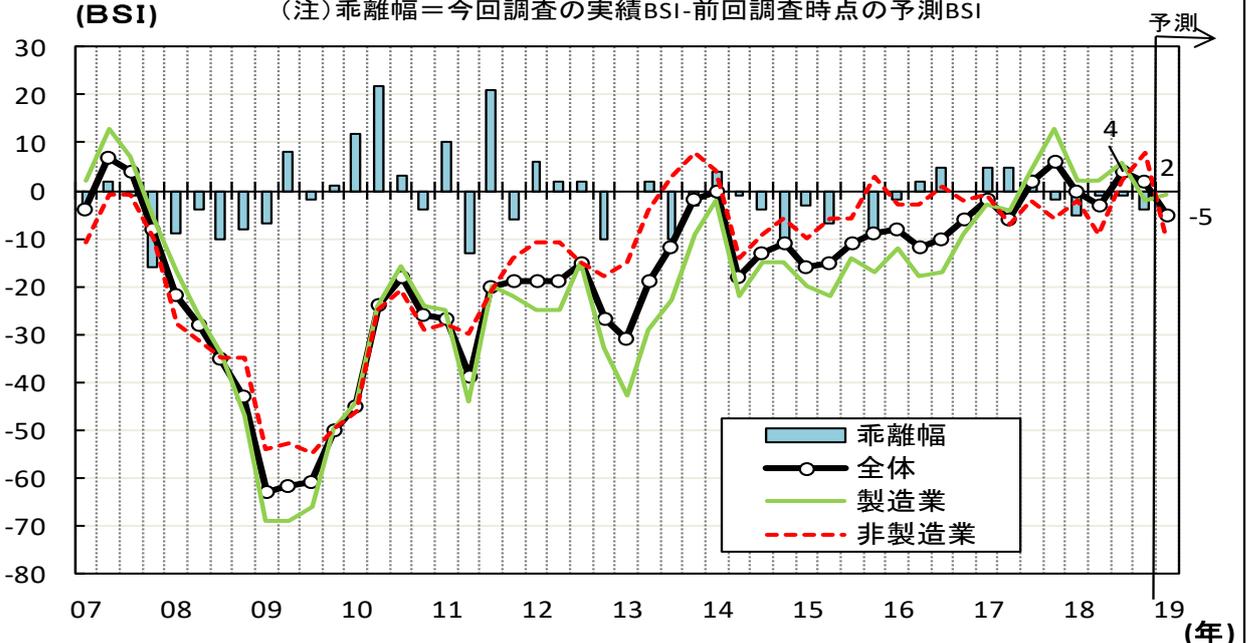
規模別にみると、「規模の大きい企業」（従業員 100 人以上）はプラスとなっているが、「規模の小さい企業」（従業員 100 人未満）は、僅かながらマイナスに転じている。

業種別にみると、製造業は僅かながらマイナスに転じている。一般機械器具が活発な設備投資を受けて堅調に推移しているものの、電気・情報通信機械器具、電子部品・デバイスがスマートフォン向けの電子部品需要鈍化から後退している。一方、非製造業は、運輸・倉庫が荷動き堅調から、不動産が取扱い堅調から、改善している。

先行き（2019 年 1～3 月期）の業況判断 BSI は -5 と、後退する見通しとなっている。業種別にみると、製造業はほぼ横ばいの動きとなる。精密機械が受注増から回復するものの、輸送用機械が米中貿易摩擦の影響を懸念し後退する見通しとなっている。非製造業では、卸売、小売などが下降する見通しとなっている。

図表 1. 業況 BSI の推移

(BSI) (注) 乖離幅＝今回調査の実績 BSI - 前回調査時点の予測 BSI



1. 業況判断 BSI(「良い」－「悪い」) ～足踏み～

埼玉県内企業の業況感は、足踏みしている。今回(2018年10～12月期)の業況判断 BSI は、前回(7～9月期)比2ポイント低下の2と、やや後退している。

規模別にみると、「規模の大きい企業」(従業員100人以上)はプラスとなっているが、「規模の小さい企業」(従業員100人未満)は、僅かながらマイナスに転じている。

業種別にみると、製造業は僅かながらマイナスに転じている。一般機械器具が活発な設備投資を受けて堅調に推移しているものの、電気・情報通信機械器具、電子部品・デバイスが半導体向けの需要鈍化から後退している。一方、非製造業は、運輸・倉庫が荷動き堅調から、不動産が取扱い堅調から、改善している

図表2. 規模別・業種別業況判断BSI

	2017年			2018年					2019年 1～3月 (先行き)
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	前回予想	
全体	-6	2	6	0	-3	4	2	6	-5
100人未満	-13	-2	-1	3	-2	6	-1	2	-9
100人以上	3	5	13	-3	-4	3	6	11	0
製造業	-4	4	13	2	2	6	-2	11	-1
100人未満	-9	1	5	6	0	8	-1	5	-3
100人以上	2	8	21	-4	3	3	-2	17	2
素材型	-4	1	11	6	0	0	0	16	8
紙加工品等	-9	-25	-9	9	0	0	-18	40	18
化学・プラスチック・ゴム製品	9	15	8	0	13	33	0	22	10
鉄鋼・非鉄金属	0	38	27	-17	-11	-17	-10	8	0
金属製品	10	0	36	50	40	20	30	30	10
その他素材型	-30	-18	-9	-11	-36	-30	0	-20	0
加工組立型	0	9	24	2	4	19	4	13	2
一般機械器具	0	27	21	33	29	42	58	33	33
電気・情報通信機械器具	-8	-8	42	0	9	9	-33	-9	-17
電子部品・デバイス	8	18	33	0	-20	45	-9	27	-9
輸送用機械	-8	0	-9	-17	-27	-9	0	-20	-27
精密機械	9	9	30	-10	29	0	0	38	50
生活関連型	-15	5	0	-10	-6	-22	-20	-12	-33
飲・食料品	-10	36	0	20	11	0	-11	0	-11
印刷・同関連業	-20	-30	0	-40	-22	-50	-33	-25	-67
その他製造業	-20	-17	-33	0	25	33	-33	0	-33
非製造業	-7	-2	-6	-2	-9	2	8	1	-10
100人未満	-19	-7	-11	-2	-5	2	0	-2	-18
100人以上	4	2	0	-2	-14	2	15	4	-2
一般建設	-6	-6	6	6	-6	21	6	16	0
住宅建設	0	-17	-10	-30	-29	0	-13	-13	0
卸売	-17	7	0	15	0	0	15	0	-38
小売	-30	-19	-17	-25	-24	-5	-6	0	-11
運輸・倉庫	20	18	0	0	0	0	33	-10	-8
不動産	0	0	-10	9	0	0	43	0	14
その他非製造業	0	14	-8	7	-7	-6	-6	0	-12

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業の加工組立型でプラス幅縮小～

製造業は、素材型業種の鉄鋼・非鉄金属、金属製品でプラス幅が拡大する一方、加工組立型業種では、電気・情報通信機械器具でプラス幅が縮小し、電子部品・デバイスでマイナスに転じている。非製造業では、卸売、不動産などでプラス幅が拡大するものの、住宅建設でマイナスに転じている。先行きは、製造業では、素材型業種でプラス幅が縮小する見通しとなっている。非製造業では、卸売、運輸・倉庫、不動産などでマイナスに転じる見通しとなっている。

図表 3 売上(生産)高 BSI

	(前々回調査) 18年4～6月期	(前回調査) 18年7～9月期	(今回調査) 18年10～12月期	(先行き) 19年1～3月期
全体	8	19	21	-6
製造業	15	15	19	-4
非製造業	-1	24	24	-9
規模の小さい企業	14	16	15	-14
規模の大きい企業	2	23	28	2

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業の加工組立型でプラス幅縮小～

製造業は、素材型業種の鉄鋼・非鉄金属、金属製品でプラスに転じる一方、加工組立型業種では、電気・情報通信機械器具でプラス幅が縮小し、電子部品・デバイスでマイナスに転じている。非製造業では、卸売、運輸・倉庫、不動産などがプラスとなっている。先行きは、製造業は、生活関連型業種を中心にマイナスに転じる見通しである。非製造業では、卸売、運輸・倉庫、不動産がマイナスに転じる見通しとなっている。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 18年4～6月期	(前回調査) 18年7～9月期	(今回調査) 18年10～12月期	(先行き) 19年1～3月期
全体	1	5	11	-13
製造業	6	2	8	-11
非製造業	-5	9	15	-14
規模の小さい企業	7	3	7	-20
規模の大きい企業	-4	6	15	-5

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業の加工組立型でプラス幅縮小～

製造業では、一般機械器具、電子部品・デバイス、精密機械などでプラス幅が縮小している。先行きは、製造業では、電子部品・デバイス、輸送用機械がマイナスに転じる見通しである。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 18年4～6月期	(前回調査) 18年7～9月期	(今回調査) 18年10～12月期	(先行き) 19年1～3月期
全体	6	9	1	-1
製造業	7	12	1	-2
非製造業	4	2	2	0
規模の小さい企業	3	8	1	-5
規模の大きい企業	11	9	1	3

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～非製造業で不足感が強まる～

製造業は、総じて不足感がみられるが、加工組立型業種、生活関連型業種で不足感が薄れている。非製造業は、運輸・倉庫などで不足感が強まっている。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 18年4～6月期	(前回調査) 18年7～9月期	(今回調査) 18年10～12月期	(先行き) 19年1～3月期
全体	-1	-9	-9	-5
製造業	5	-10	-7	-6
非製造業	-9	-6	-13	-5
規模の小さい企業	4	-4	-3	-1
規模の大きい企業	-5	-13	-16	-10

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業、非製造業ともに不足～

製造業では、総じて不足感が強まり、素材型の化学・プラスチック・ゴム製品、生活関連型の飲・食料品で不足感が顕著となっている。非製造業では、一般建設で不足感が一段と強まっている。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 18年4～6月期	(前回調査) 18年7～9月期	(今回調査) 18年10～12月期	(先行き) 19年1～3月期
全体	-34	-36	-41	-39
製造業	-28	-29	-38	-36
非製造業	-43	-45	-44	-43
規模の小さい企業	-25	-30	-31	-29
規模の大きい企業	-44	-42	-50	-49

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～総じて緩和～

非製造業の卸売、小売で厳しさがみられるものの、製造業、非製造業ともに総じて緩和されている状況にある。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 18年4～6月期	(前回調査) 18年7～9月期	(今回調査) 18年10～12月期	(先行き) 19年1～3月期
全体	8	11	8	6
製造業	5	12	10	10
非製造業	11	10	6	0
規模の小さい企業	4	6	-1	1
規模の大きい企業	12	17	18	11

(以上)